

教養講演会

10月5日(水)、山形県教育委員会「山形の未来をひらく教育推進事業」の一環として、「山形西高校教養講演会」を本校体育館で開催しました。グローバル化が進む世界において活躍されている方々のお話をお聴きし、生徒のキャリア形成に資することを目的に、毎年開催しています。

本校では、理系生徒の進路選択の幅を広げるとともに、生徒の理数能力の底上げを目的として「山西リケジョ・プロジェクト」に取り組んでいます。その流れで、今年度は、講師としてサイエンスナビゲーター® 桜井進先生をお招きして、「わくわく数の世界の大冒険 ～世界は数学でできている～」と題して講演していただきました。桜井先生は、山形県東根市の御出身で、数学の歴史や数学者の人間ドラマを通して、数学の驚きと感動を伝える講演活動を行っています。巧みな話術とともに、音響と映像を駆使し、見る人すべてを惹きつける「数学エンターテイメント」を実践しています。また、これまで多くのテレビ番組に出演し、数学の魅力を全国に伝えています。

とかく「難しい」「分からない」という、どちらかというあまり良い印象をもたれることが多い数学ですが、桜井先生は、私たちの生活の中には至る所に数学が存在していることを、身近な例を多く用いて、分かりやすく説明してくださいました。また、なぜ三角関数が生まれたのか、などという数学の歴史についてもお話しされました。さらに、日本の数学(和算)の歴史についても触れられ、山形県からはこれまでたくさんの著名な数学者が誕生していることをお話しされました。講演の最後は、「世界は数学でできている。その世界にあなた自身が含まれている」と締め括り、数学を感じることの大切さと面白さを振り返りました。

講演後は、生徒からたくさんの質問や感想が出されました。西高生にとって、数学を身近に感じ取ることができた素晴らしい講演でした。桜井先生、ありがとうございました。先生の益々の御活躍を祈っております。

